



## AI音声による道路規制情報案内事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	山田 嘉晴							
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度						
事業実施方法	委託																	
補助率																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 16 防災・治安先進県ふくいの実現 ]				関連する県の計画等		[ 福井県DX推進プログラム ]											
[解決すべき問題・課題] 通行規制情報の電話問合せに 対応時間が取られる。						[問題・課題を表す客観的データ] R3年1月におけるVoiceBotへの入電数4,343件/月 R4年8月におけるVoiceBotへの入電数1,209件/月 R5年7月におけるVoiceBotへの入電数 483件/月												
[事業目的] 県管理道路の通行規制を行う場合、県HP「みち情報ネットふくい」で情報発信しているが、電話問合せが一定数あり開庁時間のみの対応となっており、さらに災害時になると電話問合せが急増することから、VoiceBot導入により、職員の電話対応時間縮減と24時間365日の自動応答を図る。																		
[事業内容] 令和2年度から本事業の実証実験を実施しており、令和3年1月大雪時には1日最大約1,100件の入電がVoiceBotにあり、一定の成果があった。一方で、アンケートから道路管理者の異なる直轄国道や高速道路の問合せや、「いつ解除されるのか」、「なぜ規制が行われているのか」という要望があり、これらに対応するため、以下の拡充を行ないサービス向上を目指す。 【令和4年度】 ①直轄国道(国道8号、27号、161号、中部縦貫自動車道)、高速道路(北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道)の規制情報の案内追加 ②規制情報の入力を行なう「道路管理情報システム」とAPI連携を行ない、「規制解除予定時間」、「規制理由」、「迂回路情報」等の提供情報の拡充 【令和5年度以降】 令和4年度に実施した内容を継続運用																		
[受益者] 県内外のドライバー						[想定される受益者数] 1,100名												
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)											
市町との連携状況						他県の状況												

# AI音声による道路規制情報案内事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	山田 嘉晴	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,245				4,245							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				5,785	4,245	4,245						
2月現計予算額の推移				4,950	4,245							
決算額の推移				4,950								
前年度までの 主な増減理由	R5：初期構築費減のため											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	VoiceBotへの入電数 (目標) 実績			(1,100) 1,085	(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)	VoiceBotへの入電数1,100件			
活動指標	AI音声による道路規制情報案内の広報 (目標) 実績			(2) 2	(2)	(2)	(2)	(2)	福井県DX推進プログラムへの掲載(1回) 県の道路情報案内サイト「みち情報ネットふくい」でサービス内容を公開するとともに、大雨や大雪時には県のHPでも広報(1回)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和6年1月末時点で1,377件の入電があり、大雪時には多くの道路利用者に対して道路規制の情報提供を行い、成果指標を達成した。				提供情報の拡充を行ったことから、大雨災害発生時には、VoiceBotに多くの入電があったが、道路保全課への入電も一定数あった。引き続き、サービスの周知に努め、道路利用者に対してスムーズな道路規制情報の提供を行いたい。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 除雪作業支援システム構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	山田 嘉晴				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R10 年度					
事業実施方法	委託														
補助率															
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野 [ 4 安心を高める(地域力) ]		政策 [ 16 防災・治安先進県ふくいの実現 ]		関連する県の計画等		[ 道路雪対策基本計画 ]							
[解決すべき問題・課題] 令和3年1月の大雪時には、嶺南・丹南地区の建設業協会等からの応援による除雪を実施したが、応援業者のオペレータは、積雪前の道路状況が分からないため、支障となるマンホールや縁石等の構造物を確かめながらの作業となり、除雪に時間を要した。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年1月大雪時の応援業者（若狭地区建設業会、敦賀建設業協会、丹南建設開発機構）より意見あり。									
[事業目的] 応援除雪実施時に、応援業者が支障となる構造物が確認できるよう、積雪前の道路状況をタブレットに表示（除雪作業支援システム）し、スムーズな応援除雪を図る。															
[事業内容] (1) 除雪作業支援システムの保守（ソフトウェア+タブレット：35台）															
[受益者] 応援除雪業者						[想定される受益者数] 35社									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

## 除雪作業支援システム構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	山田 嘉晴	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	975			(繰入) 975		雪対策基金繰入金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					21,656	975	システム導入完了による導入費用の減					
2 月現計予算額の推移					21,428							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	除雪作業支援システム 活用業者数 (目標) 実績				(35) 35	(35)	(35)	(35)	除雪作業支援システム (ソフトウェア+タブレット) の活用業者数 3 5 社			
活動指標	除雪作業支援システム 配備数 (目標) 実績				(35) 35			(35) 35	除雪作業支援システム (ソフトウェア+タブレット) の配備 3 5 台			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
35 台のシステムを配備し、成果指標を達成した。				目標となるシステム 35 台の配備は完了したことから、今年度予算では継続してシステムを活用するためのシステム保守を行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	20,681	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 除雪体制強化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	山田 嘉晴	
事業主体		(一社) 福井県建設業協会			事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 16 防災・治安先進県ふくいの実現 ]			関連する県の計画等		[ 道路雪対策基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 除雪ドーザやトラクターショベルにおいては、特に前後進を繰り返し行うことから、オペレータの負担が大きく、集中的な大雪時など昼夜を問わず継続して除雪作業を実施するためには、更なる交代要員の確保が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 除雪ドーザやトラクターショベルは4交代の体制が必要である。						
[事業目的] 除雪オペレータの人員不足に対応するため、除雪機械の運転に必要な免許取得および技能講習に係る費用の補助を行い、除雪機械の運転手となる若手人材等を育成し、除雪体制の強化を図る。												
[事業内容] (1) 県の除雪機械の運転に必要な免許取得および技能講習に係る費用の補助 補助上限額：250千円 補助率：1/2 (70名)  (2) 補助金交付申請の受付および交付決定通知の処理業務等の補助 補助先：(一社) 福井県建設業協会 補助額：定額707千円												
[受益者] 県が管理する道路を除雪する企業の従業員						[想定される受益者数] 300人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 除雪オペレータ育成支援事業 (実績) 昼夜問わず継続して除雪作業できる体制(交代要員)を確保するため、オペレータを200名増強				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		・山形県 除雪オペレータ担い手確保支援事業 ・福島県 除雪オペレータ育成支援事業 ・富山県 除雪オペレータ育成支援事業 ・鳥取県 除雪機械運転手育成支援事業 ・島根県 除雪機械運転資格取得支援補助金				

## 除雪体制強化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	山田 嘉晴	
事業主体	(一社) 福井県建設業協会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	定額、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	7,707				7,707							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					4,469	7,707	補助対象人数増のため					
2月現計予算額の推移					4,469							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	除雪オペレータ育成人数 (目標) 実績				(40) 40	(70)	(180)	(300)	除雪オペレータ300名の育成			
活動指標	事業の公募と周知 (目標) 実績				(2) 2	(2)	(2)	(2)	県HPで育成支援事業の募集開始を公開(1回) 除雪業者に募集チラシを送付(1回)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
オペレータ40名を育成し、成果指標を達成した。				補助対象人数の増(40名→70名)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 除雪状況「見える化」促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	山田 嘉晴	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 16 防災・治安先進県ふくいの実現 ]				関連する県の計画等		[ 福井県DX推進プログラム ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
除雪体制において、管理者の異なる道路が交差する場所などは、除雪のタイミングを合わせるなど各管理者の連携が必要。												
[事業目的]												
市町における除雪車位置情報システム導入の補助を行い、県、市町互いの除雪車輛の位置を確認し、より速やかな連携除雪を図る。												
[事業内容]												
(1) システム構築に係る費用およびGPS端末購入に係る費用の補助 ○補助上限額 システム構築費 : 1, 100千円(1市町あたり) GPS端末購入費 : 22千円(1台あたり) ○補助率 1/2												
[受益者] 県内各市町						[想定される受益者数] 17市町						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 除雪状況「見える化」促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	山田 嘉晴	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	1/2							<input type="checkbox"/> その他		3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			16,346	12,287	6,787		事業完了のため R5年度の実施市町：福井市、美浜町、若狭町、おおい町、高浜町					
2月現計予算額の推移			9,196	13,596	7,128							
決算額の推移			9,196	12,866								
前年度までの 主な増減理由	R3年度の実施市町：福井市、坂井市、あわら市、鯖江市、大野市、勝山市（6月補正） R4年度の実施市町：福井市、永平寺町、越前市、越前町、池田町、南越前町、敦賀市、小浜市											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	除雪車位置情報システム 導入市町数	(目標)	(6)	(12)	(17)		(17)	(17)	県内全市町への導入			
		実績	6	13	17		17	17				
活動指標	補助事業の案内および技 術支援	(目標)	(17)	(17)	(17)		(17)	(17)	各市町への補助事業創設の案内 除雪車位置情報システム導入にかかる技術支援			
		実績	17	17	17		17	17				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
県内全17市町との連携が完了し、成果指標を達成した。 目標となる県内全17市町との連携が完了したことから、今後は最重要 除雪路線等の除雪状況を一般公開し、除雪状況の見える化を実施して いく。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	6,787	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		